

【事例 7】 介護サービス適正評価事業

実施年度	平成 15 年度～	連携・協働形態	委託												
事業内容	<p>介護サービスについて利用者及び事業所のアンケート調査を実施し、サービス向上のためのデータを把握する。これを基にサービスの質的向上を図るとともに、将来的な第三者評価の基準を検討し、利用者の事業所選択に質することを目的とする事業である。</p> <p>アンケート調査，集計分析，報告書の作成を「介護支援いばらき」に委託する。</p> <p>調査対象事業</p> <p>居宅サービス：訪問介護，訪問看護，訪問入浴，通所介護，通所リハビリ，短期入所生活介護，居宅介護支援</p> <p>施設サービス：介護老人福祉施設，介護老人保健施設</p> <p>上記 9 事業の約 100 事業所及び利用者約 1,000 人を抽出する。</p>														
連携・協働の範囲	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>計 画</th> <th>実 施</th> <th>実施後の評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>行政</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>NPO</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				計 画	実 施	実施後の評価	行政				NPO			
	計 画	実 施	実施後の評価												
行政															
NPO															

（行政）

市町村名	水戸市	担当課	介護保険課	電話	029-224-1111
------	-----	-----	-------	----	--------------

連携・協働事業を行ったきっかけ（発意者：行政）

事業の実施に当たって、介護保険制度・高齢者福祉への見識や福祉の向上に対する意欲，中立，公平性，調査分析の専門性などが必要とされ，委託契約を考えた当時，このような業務を委託できる業者は，NPO法人の介護支援いばらきのみだった。

現在は，コンサルタント会社がこの業種にも参入している。

役割分担

NPO側：介護サービス調査の実施，介護サービス評価検討委員会の設置・運営，介護サービス評価調査の集計分析，調査報告書の作成

行政側：介護サービス調査のための事業者及び利用者の情報提供
検討委員会等の会議の場の提供

連携・協働によるメリット等（事業成果）

介護サービス適正評価事業の委託業務を行ううえで，民間の請け負い業者がなかったためこの業者に委託した。この事業を「介護支援いばらき」に委託することにより，本市は介護サービスの評価基準を確立することができ，「介護支援いばらき」は，サービス評価調査の実施及び調査結果の取得をすることができ，今後の法人の活動に活用ができる。

連携・協働する上で配慮した点

調査対象者抽出等で個人情報の管理について

課題と対応

これから提出される結果及び報告書により検討する。

連携・協働の今後の展望

この委託業務以外でも「介護支援いばらき」と活発な意見交換や情報交換を行っていく。

(協働相手のNPO)

団体名	介護支援いばらき	電話	029-233-5823
住所	〒310-0803 水戸市城南1丁目5番30号		

連携・協働事業を行ったきっかけ (発意者:行政)

介護保険の民間事業所参入を受け、利用者本位のサービス提供のためには介護サービス事業所の第三者評価の研究が必要であると考え、2001年より研究を開始した。水戸市介護保険課とは各種意見の交換をしており、介護サービス適正評価の意見交換もしていた。

連携・協働によるメリット等(事業成果)

- ・ 新しい事業を定着させるためには、利用者・事業所の理解と協力が必要であり、水戸市との連携は重要であった。
- ・ 予備調査等、水戸市の紹介での現地調査において現場の協力により、研究におおいに役立った。

連携・協働する上で配慮した点

- ・ 研究会等の参加者の都合により、日程調整。
- ・ 個人情報の管理。

課題と対応

- ・ NPO法人として初めての行政との協働事業であり、見積りより、作業内容が増えるものがあった。今後は見積りに詳細まで検討したい。

連携・協働の今後の展望

- ・ 今回は利用者と事業所の自己評価を調査したが、さらに研究を進め、第三者評価を実施していきたい。